



みんなの食堂 すいせんの花

みんなの食堂でラーメンを提供



3月30日、蔵之元自治公民館で、長島町ひとり親寡婦福祉会「すいせんの会」が地域ボランティアや民生委員、社会福祉協議会と協力して「みんなの食堂 すいせんの花」を開催しました。

NPO法人かごしま子ども食堂支援センター「たくして」の協力によりキッチンカーで作るラーメンが提供され、訪れた約100人が魚介スープとモチモチ食感の縮れ麺のおいしいラーメンを堪能。山崎重蔵君（蔵之元小3年）は「濃い醤油味でつるつるの麺。とても美味しい」と話しました。

令和7年度転入学教職員宣誓式

石積みと花の町で頑張りたい



4月8日、町内の小中学校に転入してきた教職員を対象に令和7年度転入学教職員宣誓式が、指江支所大ホールで行われました。

今年度新たに52人の教職員が小中学校に転入しました。転入者を代表して、川床小学校の石塚愛子教諭（写真）が「職務とその責任を自覚し、誠実かつ公正に職務を執行します」と宣誓。城川内小学校の廣留美校長は「石積みと花の町で、一つひとつ石を積みように丁寧な教育を心掛け、チーム長島で関係者と大輪の花を咲かせられるよう頑張りたい」とあいさつしました。

小中学校入学式

自分でできることを増やそう



4月7日、町内の小学校7校と中学校5校で入学式がありました。令和7年度の新入生は、小学生97人、中学生88人の計185人です。

蔵之元小学校（中村勲校長・39人）では、保護者らが見守る中5人が入学しました。中村校長は「皆さんの入学を楽しみにしていました。学校生活を楽しむために自分でできることを増やしましょう」と新入生を歓迎しました。

小場葵翔君は「勉強が楽しみ。鍛錬坂も登ってみたい」と笑顔で話しました。

日本マンダリンセンターで九州和ハーブサミット

アオモジや島ミカンのは和ハーブ



4月5日、日本マンダリンセンターで「九州和ハーブサミット」が日本和ハーブ協会（東京都）主催で開催され、県内外の愛好家ら63人が参加しました。

協会は、日本で古くから使われてきた植物の活用を推進しています。

サミットでは、協会の古谷暢基理事長が、アオモジや島ミカンなど町に自生する香りの良い植物と調理例を紹介し「長島はハーブが豊富。自生する素材を活用すると地域おこしが推進できるのでは」と話しました。